

令和5年石見銀山基金事業報告

石見銀山研究会

【事業名】 石見銀山研究

【事業実施内容】

研究例会はその一部(前半)について大田市教育委員会・島根県教育委員会の事業である「ここまでわかった石見銀山」の共催事業とし、広く調査研究成果を共有すると共に会員による発表や議論を深める機会を拡充する。併せて研究誌の充実を図った。

1. 石見銀山研究会例会の開催

2023年11月26日(会場:大田市民会館)

講演者:池上 悟(立正大学名誉教授)

演題:「近世墓石と石見銀山一帯の形から考える」

報告等・討論



石見銀山研究会例会講演(池上 悟氏)



石見銀山研究会例会 会場の様子

2. 研究会に関するニュースをSNS上で公開

3. 研究会発表要旨、個人研究、資料紹介の冊子公刊

4. 遺跡等の現地見学・検討会(セミナー)の開催

12名参加

日時/2023年11月25日

14:00 妙正寺跡/石造物調査最初の調査地

15:00 龍昌寺跡/代官墓他

15:30 現地検討会

5. 国内外の鉱山遺跡(遺産)に関する紹介等

静岡県内、ポーランドの遺跡を研究誌上で紹介



現地検討会（龍昌寺跡）



石見銀山研究 第3号

【事業実施効果】

今年度は石見銀山遺跡の石造物調査20年の成果を基礎として講演「近世墓石と石見銀山一帯の形から考える」や佐渡金銀山の町と寺院・墓地の調査報告をふまえ、「石見銀山での生死と暮らし」に関する討論を参加者で行った。

研究誌では論文「石見銀山でいう「灰吹」とは「合せ吹」のことである」、研究ノート「大森町文化財保存会の実態」、資料・遺跡紹介では「白鶴美術館所蔵の古丁銀資料」、「縄地、大松、落合鉱山」、「元文元年丙辰大荒書」からうかがう近世前期の温泉津、「温泉津に伝わる長州藩「郡中御制法」」、「島根県雲南市大東町のモリブデン鉱山」、「矢滝城山に進駐軍がいた頃」、「仙頂山安養寺」、「龍泉山西性寺」、世界遺産紹介では「タルノフスキェ・グレイの船・銀・亜鉛鉱山とその地下水管理システム」、「世界遺産 タルノフスキェ・グレイ鉱山を訪問して」、「中央アジアの世界遺産」、書評・紹介では『石見銀山学ことはじめ 6 銀』、『世界遺産石見銀山の五百羅漢石仏が語る』、『第19代石見銀山領代官井戸平左衛門正明公いも代官頌徳碑533基全覧』、『世界を動かした日本の銀』、『しろがねの葉』などを掲載し、幅広くかつ深まる論考・寄稿があった。